

2026年 7月16日
筑波観光鉄道株式会社
関東鉄道株式会社

走る役目を終えた路線バス、今度は思い出を運ぶ場所へ

「BUSルーム」オープン

筑波山京成ホテルに新スポット誕生

筑波観光鉄道（本社：茨城県つくば市、取締役社長：枝村 誠）と関東鉄道（本社：茨城県土浦市、取締役社長：登嶋 進）は、廃車予定の路線バスに新たな価値を吹き込み、筑波山京成ホテル宿泊者限定で休憩施設としてお楽しみいただける新スポット「BUSルーム」を2026年8月1日（土）にオープンいたします。



「BUSルーム」は、木の温もりに包まれた空間で、思い思いの時間を過ごせる「遊べるバス」です。今回生まれ変わるのは、2001年に茨城県で初めて導入された関東鉄道のノンステップバス「いすゞエルガ（1809号車）」。四半世紀にわたり地域の足として親しまれた車両を木の温もりあふれる空間へリノベーションしました。

宿泊者が自由にくつろげる休憩スペースとしてのご利用や、家族や仲間との語らいや、お子さまの遊び場としても、世代を問わず楽しめる憩いの場となっています。車内のウッドベンチからは、大きな窓いっぱいに広がる筑波山の雄大な景色を眺めることができ、ゆったりとした時間をお過ごしいただけます。

本件の概要は次の通りです。

「BUSルーム」について

1. 施設名称

BUSルーム

2. 名称について

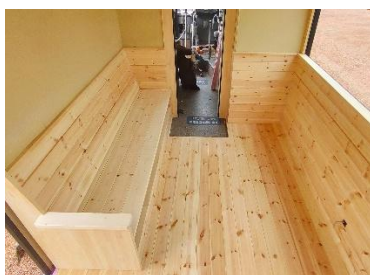
人や地域をつないできたバスが、新たな役割として「くつろぐ」「集う」部屋に生まれ変わったという意味を込めています。役目を終えた車両に新たな価値を与え、ここで過ごす時間そのものが特別な思い出となるようお願いを込めて名付けました。

3. BUSルーム施設概要

BUSルームは、筑波山京成ホテルの宿泊者限定でご利用いただける「遊べるバス」です。運転席に座って運転士気分を味わったり、方向幕や車内放送を操作したりと、本物の路線バスならではの体験をお楽しみいただけます。車内には筑波山を一望できるウッドベンチを備え、ご家族やご友人との団らんや、ゆったりくつろぐ時間もお過ごしいただけます。



木の温もりあふれる車内



車内に設けられたウッドベンチ



車内からの眺望イメージ

4. 車内デザイン

車内デザインは、自動車工場やカフェなどの複合施設を運営するY's Factory（本社：茨城県河内町、代表取締役：高橋 義正）が担当しました。オーダーメイドキャンピングカーの製作で培った高い技術力を活かし、木の温もりを感じる北欧テイストと洗練されたモダンデザインを融合させました。

5. 車両設置場所

筑波山京成ホテル（住所 茨城県つくば市筑波1）

6. 利用方法及びホテル概要

(1)利用方法

- 筑波山京成ホテル公式サイト及び予約サイトより「BUSルーム」ご利用プランをご予約いただくと、ご滞在中は、宿泊客室と「BUSルーム」をご自由にご利用いただけます。
- 予約開始 2026年7月16日(木) ※8月1日チェックイン分のご予約から
- 営業開始 2026年8月1日(土)
- 料 金 1泊2食付き2名様 43,600円～、2食付き1名様 26,800円～

(2)ホテル概要

筑波山頂に最も近いホテル「筑波山京成ホテル」は、筑波スカイラインの終着点に位置し、ロープウェイ乗り場にも隣接する絶好のロケーションが魅力のホテルです。全客室からは、関東平野を一望する大パノラマが広がり、雄大な自然や茜色に染まる空など、時間とともに移り変わる絶景をお楽しみいただけます。登山や観光の拠点としてはもちろん、日常を離れて心と身体を癒す滞在にも最適で、筑波山ならではの感動とくつろぎを体感できるホテルです。



客室から関東平野を一望



眺望抜群の露天風呂



露天風呂からの雲海

7. お客様のお問い合わせ先

筑波山京成ホテル 電話 029-866-0831(受付時間 7:00～21:00)

以 上